
学会誌 Vol36-2「UAVを用いたリモートセンシング研究の可能性」小特集への投稿論文の募集

近年の飛躍的なUAVの技術革新、またそれに伴う利用増加を受け、日本リモートセンシング学会誌 36-2 号（2016 年 4 月号）では「UAVを用いたリモートセンシング研究の可能性（仮題）」小特集を企画しています。

UAV に関しては、情報管理・プライバシー・安全性等の面で社会的懸念も広がり、法整備が後追い状態という現実もあります。

しかし、機動性に富み、高解像度の画像が比較的容易に得られるという利点は、分野を問わず研究者にとって大きな魅力であることは間違いありません。

本特集号では、UAVを用いたリモートセンシング研究の可能性を探求するという事を目的としています。そのために、研究分野を特に限定せず UAV を使用した斬新なアプローチを数多く紹介し、利用者にとって価値ある情報を提供していきたいと考えております。下記の通り論文を募集しますので、奮ってご投稿ください。

記

- ・掲載予定号 36-2 号（2016 年 4 月号）
- ・論文募集形態 論文、小論文、総説（レビュー）、技術報告、事例紹介
- ・論文のテーマ UAVを用いたリモートセンシング研究に関して、幅広く募集します。
- ・論文投稿期限 2015 年 11 月 15 日
- ・論文査読 論文、小論文、総説（レビュー）に関しては、通常通りの審査を行います（ただし、事例紹介は査読無し）。
- ・投稿規定 以下のページをご参照ください。
<http://www.rssj.or.jp/gakkaisi/gakkaisi.htm>
- ・留意事項 査読審査の進行状況によっては、受理された論文が 36-2 号以降に掲載される場合があります。
- ・本小特集に関する問い合わせ先
亀山 哲（36-2 号担当編集委員、国立環境研究所）
kame@nies.go.jp

以上

日本リモートセンシング学会編集委員会

委員長 松永恒雄（国立環境研究所）

36-2 号担当編集委員 亀山 哲（国立環境研究所）